



国語科(4年)



☆国語科で学習すること

小学校の国語の学習では、日常生活に必要な話す・聞く・書く・読むなどの基礎的な内容を繰り返し学習し確実に言語能力を育成することを重視しています。

4年生の国語は、年間245時間の授業を実施することになっています。本校では、その内の30時間を書写に当てています。

4年生では、相手や目的に応じて、話したり書いたりすること、内容の中心をとらえて、聞いたり読んだりすることが学習のめあてになっています。漢字を確実に身に付け、文章の中で使えるよう学習を進めていきます。

☆学習の仕方について

国語で学習することは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」です。

「話すこと」では、相手を決めてスピーチをしたり、話題を選んでインタビューをしたりします。聞いている人を意識して取り組むことが大切です。また、実際に調査活動をして、分かったことや考えたことなどを発表する学習も増えてきます。

「書くこと」では、自分の疑問に思ったことについて調べてまとめたり、経験したことを記録文や学級新聞のような形式で表したり、相手が興味をもって読んでくれるように、様々な表現の仕方を工夫します。

「読むこと」では、段落相互の関係を考えながら内容の中心をとらえることが、学習の中心です。教科書の文章だけでなく、幅広く読書しようとする態度を育てることを目指しています。

「我が国の言語文化に関する事項」では、辞書を使って語彙を増やしたり、短歌や俳句、ことわざも学んだりします。

☆評価の観点について

国語科では、次の3つの観点で評価します。

①「主体的に学習に取り組む態度」

○「言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。」

→ 授業への参加態度、提出物、発表、ワークシート、読書カード等

②「思考・判断・表現」

○「筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力、また、日常生活における人とかかわり合いの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができる。」

→ スピーチ、発表、聞き取りメモ等

作文、作文メモ、単元テスト(表現)等

音読テスト、ワークシート、単元テスト(理解)等

③「知識・理解」

○「日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。」

→ 漢字・言葉の小テスト、単元テスト(言語)、硬筆ノート、硬筆作品

☆児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視し、ノート、自己評価や相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなどの様々な面から多面的に評価します。

学習予定

月	学習すること
4	○力を合わせてばらばらに ○春のうた ○なりきって書こうつづけてみよう ○白いぼうし ○図書館の達人になろう ○漢字辞典を使おう ○春の楽しみ
5	○聞き取りメモのくふう ○カンジーはかせの都道府県の旅 1 ○漢字の広場① ○思いやりのデザイン アップとルーズで伝える
6	○お礼の気持ちを伝えよう ○漢字の広場② ○一つの花 ○つなぎ言葉のはたらきを知ろう ○短歌・俳句に親しもう (一) [情報] 要約するとき
7	○新聞を作ろう [コラム] アンケート調査の仕方 ○カンジーはかせの都道府県の旅 2 ○夏の楽しみ ○本のポップや帯を作ろう 神様の階段
夏休み	夏休み読書チャレンジ
9	○忘れ物 ぼくは川 ○あなたなら、どう言う ○パンフレットを読もう ○どう直したらいいかな ○いろいろな意味をもつ言葉 ○ローマ字を使いこなそう ○漢字の広場③ ○ごんぎつね
10	○漢字を正しく使おう ○秋の楽しみ ○クラスみんなで決めるには
11	○未来につなぐ工芸品 工芸品のみりよくを伝えよう ○慣用句 ○短歌・俳句に親しもう (二) ○漢字の広場④
12	○友情のかべ新聞 ○もしものときにそなえよう ○冬の楽しみ
冬休み	冬休み読書チャレンジ
1	○自分だけの詩集を作ろう ○言葉から連想を広げて ○熟語の意味 ○漢字の広場⑤ ○風船でうちゅうへ
2	○つながりに気をつけよう ○心が動いたことを言葉に ○調べて話そう、生活調査隊
3	○スワンレイクのほとりで ○漢字の広場⑥ ○四年生をふり返って



◆ 社会で学習すること

4年生の社会科は、「1 彩の国さいたま」「2 住みよいくらし」「3 自然災害からくらしをまもる」「4 県内の伝統や文化、先人のはたらき」「5 特色ある地いきの様子とくらし」について、年間90時間の授業を通して学習します。主な内容は、埼玉県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどです。

◆ 学習の仕方について

○ 見学・調査

- ・見学・調査に行くときは、見学カードや見学ノートを使います。
- ・見学・調査に行く前に、各自で調べたいことを整理しておきます。
- ・見学・調査のルールやマナーは、事前に学習しておきます。

○ 資料活用

- ・教科書と、電話、ファックス、手紙、コンピュータ、現地資料、新聞、インタビュー資料などを使います。
- ・電話のかけ方や資料の集め方は、事前に学習しておきます。

○ 地図・地図帳の活用

- ・地図帳を使って、47都道府県の名称と位置や特色をまとめます。
- ・観察や見学・調査、体験などを通して調べたことをまとめ、発表します。
- ・社会科新聞や手紙、年表、紙芝居、絵地図、ガイドブック、コンピュータ、写真などで表現し、発表し合います。

◆ 評価の観点

3つの観点で評価します

- ①埼玉県の都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働き等について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けている。(知識・技能)
- ②社会的現象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、考えたことや選択・判断したことを表現している。(思考・判断・表現)
- ③社会的現象について、主体的に学習の問題を解決しようとし、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を持っている。(主体的に学習に取り組む態度)

月 学習の予定

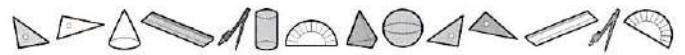
4	1 彩の国さいたま (1) 地図を開いて
5	2 住みよいくらし (1) くらしと水
6	(2) くらしとごみ
7	
8	3 自然災害からくらしを守る (1) 災害からくらしを守る
9	
10	4 県内の伝統や文化、先人の働き (1) 昔から受けつがれてきたもの
11	
12	
1	5 特色ある地いきの様子とくらし (1) 伝統的な技術を生かすまち・小川町
2	
3	



◆ 保護者の方へ ◆

学校での学習だけでなく、日ごろから日常的に地域社会への関心を高めることが大切です。家族で散歩や旅行などに出かけるときには、地域の公共施設や歴史的な遺跡や遺物などにふれる機会も計画に加えてください。また色々な場所へ児童が自主的に調べに行く時には、ご協力をお願いします。児童が地域社会への関心をもてるように、市や県の広報が配布されたり、新聞・テレビ・ラジオのニュースなどで、鴻巣市や埼玉県の話がとりあげられたりしたときには、家族の団らんの時間に話し合ってみてください。

算数科 4年



☆学習すること

4年生は年間175時間の授業を通して、次の内容を学習します。

- ・ 億、兆
- ・ 2桁の数や3桁の数÷1桁の数や2桁の数の整数の計算
- ・ 小数のたし算とひき算、小数を用いた倍
- ・ 小数×整数や小数÷整数の計算
- ・ 分数のたし算やひき算（分母が同じ場合）
- ・ 概数、四捨五入、計算の結果の見積もり
- ・ そろばんでのたし算とひき算
- ・ 面積の意味と単位、測定
- ・ 正方形と長方形の面積の求め方
- ・ 角の大きさの単位（度（°））と測定
- ・ 平行四辺形、ひし形、台形
- ・ 直線や平面の平行や垂直
- ・ 立方体、直方体、ものの位置の表し方、見取図、展開図
- ・ 二観点からの分類、折れ線グラフ
- ・ 伴って変わる二つの数量、簡単な場合の割合
- ・ 四則混合や0を使った式、□や△を用いた式

☆評価の観点

算数科では、次の3つの観点で評価します。

- ① 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解しているとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。（知識・技能）
- ② 「日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力」「基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力」「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」を身に付けている。（思考・判断・表現）
- ③ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き粘り強く考えたり、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。（主体的に学習に取り組む態度）

★ 単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノート整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

☆保護者の方へ

- ①「東京書籍」の教科書を使用して学習をすすめています。その他に、計算ドリルを購入して使用します。家庭学習にも活用してください。
- ②ノートは、10mm方眼を使用します。ご用意ください。
- ③算数での学習内容を、生活に関連づけるようご家庭でも意識していただくと、より効果が上がると思います。

☆学習予定

学期	単元名	おもな学習の内容
一学期	★ 学びのとりば	
	1 大きい数のしくみ	◎大きい数のしくみ ◎10.倍した数、1/10にした数 ◎かけ算
	2 折れ線グラフと表	◎折れ線グラフ ◎整理のしかた
	3 わり算の筆算（1） —わる数が1けた	◎何十、何百のわり算 ◎わり算の筆算 ◎暗算
	4 角の大きさ	◎角の大きさ
	5 小数のしくみ	◎小数の表し方 ◎小数のしくみ ◎小数のたし算とひき算
	★ 考える力を伸ばそう	
二学期	○ そろばん	
	6 わり算の筆算（2） —わる数が2けた	◎何十でわる計算 ◎2けたで割る筆算 ◎わり算の性質
	○ 倍の見方	◎倍の計算
	7 がい数の表し方と使い方	◎およその数の表し方 ◎概数をつかった計算
	★ 算数で読みとこう	
	8 計算のきまり	◎計算の順序 ◎計算のきまりとくふう
	9 垂直、並行の四角形	◎直線の交わり方 ◎直線のならび方 ◎いろいろな四角形 ◎対角線と四角形の特長
三学期	10 分数	◎分数の表し方 ◎分母がちがう分数の大きさ ◎分数のたし算とひき算
	11 変わり方調べ	◎変わり方調べ
	12 面積のくらべ方と表し方	◎広さの表し方 ◎長方形と正方形の面積 ◎大きな面積の単位 ◎長方形のたての長さとおよそ の長さの関係
	13 小数のかけ算とわり算	◎小数のかけ算 ◎小数のわり算 ◎小数の倍
	★ どんな計算になるのかな？	
	14 直方体と立方体	◎直方体と立方体 ◎面や辺の垂直・平行 ◎位置の表し方
	★ 考える力をのばそう	
	★ 算数で読みとこう	
	★ 4年のふくしゅう	

理科 4 年



理科の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する。特に4年生では、育成を目指す問題解決の力の中で『既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力』を養うことを目標としています。

4年生で学ぶ主要内容

【物質・エネルギー】

電流のはたらき、とじこめた空気と水、ものの温度と体積、もののあたたまり方、水のすがたの変化、水のゆくえ

【生命・地球】

季節と生き物、天気による気温の変化、体のつくりと運動、星、雨水と地面、月の位置の変化



評価の観点

■知識・技能

自然の事物・現象に働きかけ、問題解決をしていくことを通して科学的な理解を深めたり、観察・実験などに関する技能を身に付け、得られた結果を適切に記録したりすることができる。

■思考・判断・表現

児童が自然の事物・現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見だし、予想や仮説を基に観察・実験などを行い、結果を整理し、その結果を基に結論を導き出すといった問題解決を行うことができる。

■主体的に学習に取り組む態度

意欲的に自然の事物・現象に関わろうとしたり、粘り強く問題解決しようとしたり、他者と関わりながら問題解決したり、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとしたりしようとしている。

単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノート整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸びなど様々な面から評価します。

	月	学 習 の 予 定
1 学 期	4	○ この先を想そうしよう 1 季節と生き物
	5	2 天気による気温の変化 3 体のつくりと運動
	6	4 電流のはたらき
	7	○ 夏と生き物 ○ 夏の星 ○ わたしの研究
	8	夏休みの自由研究
2 学 期	9	5 雨水と地面 6 月の位置の変化
	10	7 とじこめた空気や水 ○ 秋と生き物
	11	8 ものの温度と体積
	12	9 もののあたたまり方
3 学 期	1	○ 冬の星 ○ 冬と生き物
	2	10 水のすがたの変化
	3	11 水のゆくえ ○ 生き物の一年

音楽科 4 年

♪ 音楽で学習すること ♪

4年生の音楽では、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能や、音楽を味わって聴く力を身に付け、生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を育てます。

学習では、今までの経験をもとに、音楽表現の仕方を工夫していきます。歌うことや楽器を演奏することへ意欲、主体的に取り組む気持ちを大切にしながら学習を進めていきます。

♪ 4年生の内容 ♪

- ・音楽の内容は大きく「表現」と「鑑賞」の二つに分かれています。

表現

- 歌や演奏するときに、どのように表現したいか思いや意図をもったり、まとまりを意識した音楽づくりの発想を得たりする。
- 曲想、歌詞、音色、響きなどと音楽との関わりに気付いたり、音の組合せの特徴に気付いたりする。
- 楽譜を見て歌ったり、演奏したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする。

鑑賞

- 曲や演奏のよさなどを感じて味わって聴いたり、曲想とその変化、音楽との関わりについて気付いたりする。

♪ 学習活動を通して ♪

- ・4年生では、年間60時間、音楽の授業があります。
- ・授業以外でも、朝の会で歌ったり、音楽朝会で歌ったりして、音楽に親しみます。
- ・音楽朝会では、学年ごとに進行を担当し、今月の歌を中心に歌唱する曲のめあてを持ちながら全学年で合唱し、音楽の楽しさや美しさを味わいます。
- ・始業式や終業式、卒業式などの行事でも校歌などを歌い、音楽の学習を生かして、音楽を愛好する心を養います。

♪ 学習の予定 ♪

月	題 材 名	教材 (◎鑑賞教材 ☆共通教材)
4	音楽で心の輪を広げよう	・国歌 ・校歌 ・小さな世界 ・リズムでなかよくろう① ☆さくらさくら
5	歌声のひびきを感じ取ろう	・いいことありそう・風のメロディー ◎パパゲーノとパパゲーナの二重唱 ☆まきばの朝
6	いろいろなリズムを感じ取ろう	・クラッピングファンタジー第7番 ・リズムでなかよくろう②
7		・いろんな木の実◎ピーナッツペンダー ・言葉でリズムアンサンブル
	ちいさにつたわる音楽に親しもう	◎こきりこ ・ちいさにつたわるおどりやまの音楽を調べよう
9	せんりつのとくちょうを感じ取ろう	・ゆかいに歩けば・陽気な船長 ◎白鳥 ◎堂々たるライオンの行進 ☆とんび
10	せんりつの重なりを感じ取ろう	・バレードホッポー◎ファランドール ・オーラ リー ☆もみじ
	いろいろな音のひびきを楽しもう	・打楽器の音楽 ◎ポロネーズ・木管楽器の仲間を知ろう ・茶色の小びん
11	日本の音楽でつながろう	・こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より ◎津軽じょんがら節/ていんさぐぬ花 ・ことをひいてみよう ・「さくらさくら」の音階でせんりつづくり
12		
1	思いを音楽で表そう	・赤いやねの家・鉄わんアトム ◎山の魔王の宮殿にて ◎朝の気分
2	歌いつごう 日本の歌	・みかんの花さくおか ・せいくらべ ・みどりのそよ風
3	みんなで楽しく♪	・ごんぎつね ・いつだって！ ・林の朝 ・世界を旅する音楽室 ・花束をあなたに ・チャレンジ！ ・Sing a rainbow ・雨の公園 ・ハッピーバースデイトウユウ ・スーパーセリフマジックエキスポアドベンチャー

♪ 評価の観点 ♪

- 知識・技能・・・・・・・・・・曲想と音楽の構造などとの関わりに気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能が身に付いている。
- 思考・判断・表現・・・・・・・・音楽表現を考えて、表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音楽を味わって聴くことができる。
- 主体的に学習に取り組む態度・・・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。

図画工作科（４年）

【図画工作科で学習すること】

- ◎ 図画工作科は、子どもたちが自分らしさを発揮し、自分の表現方法でかいたり、つくったり、遊んだりすることの快さや楽しさを味わう教科です。
- ◎ 図画工作科は、二つの領域とその両方に関わる〔共通事項〕からなっています。
 - ・A 表現（１）『造形遊び』（２）『絵や立体・工作に表す』
 - ・B 鑑賞
 - ・〔共通事項〕年間 60 時間の授業を、2 か年を見通し、学年間で関連を図りながら指導します。
- ◎《ねらい》
 - 1 進んで表現や鑑賞をする子どもを育て、つくりだす喜びを味わえるようにします。
 - 2 豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫しながら造形活動ができるようにします。
 - 3 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取る感性を育てます。

【評価の観点】

- ◎ できあがった作品だけで評価するのではなく、子どもたちの活動の様子を視点をあて、その過程を大切にします。
- 次の３つの観点で評価します。
 - 1 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。（知識・理解）
 - 2 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。（思考・判断・表現）
 - 3 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。（主体的に学習に向かう力）

《学習の予定》

	題 材 名（領 域）
1 学期	「いろいろ絵の具研究所」（絵） 「はる はる はる絵」（絵） 「紙パックでバックパク」（工作） 「むすんで つないで」（造形遊び） 「木々を見つめて」（絵） 「自然の色 どんな色」（鑑賞） 「つないで組んで すてきな形」（工作）
2 学期	「お気に入りの形」（立体） 選択「ちかごろむちゅうです」（絵）または「小さくなって遊びこいこう」（絵） 選択「どろどろカッチン」（立体）または「直線と曲線から生まれる形」（立体） 「わくわくランドで遊ぼう」（造形遊び） 選択「学校もりあげますコット」（工作）または「本を開くとお気に入りの場面」（工作） 「飛び出すハッピーカード」（工作）「ほった線からはじまるお話」（絵・版画）
3 学期	「紙の箱だいへんしん」（工作） 「へんてこ山の物語」（絵） 「カクカク板を組み合わせたら」（工作） 「みんなでたのしい だんボールランド」（造形遊び） 「ゆめいろランプ」（工作）

《子どもたちにがんばってほしいこと》

- ◎ 日頃から、図画工作科の授業で使えるものを集めておきましょう。
集めたものは、『図工箱』に入れておくと役立ちます。
材料や道具を忘れないようにしましょう。
材料は、むだにしないで大切に使いましょう。
道具は安全に気を付け、丁寧に使いましょう。
- ◎ 作品は、途中であきらめないで、最後までがんばり完成させましょう。
- ◎ 後かたづけは、みんなと協力して進んでみましょう。

体育科 4年

体育科で学習すること

- 各種の運動の課題をもち、活動を工夫して運動を楽しくできるようにするとともに、その特性に応じた技能を身に付け、体力を養う。
- 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意して最後まで努力する態度を育てる。
- 体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。



田間宮体育の願い

自分に合っためあてを持って、友達と高め合う喜びを味わわせる体育学習

- ・動きの多様性とともに、確実性も高めさせる。
- ・他と比べたり、挑戦したりして、成就する喜びを味わわせる。
- ・健康で安全な生活について理解させる。

- めあての例の中から選んだり、それを参考に自分のチームに合っためあてを考えさせたりします。
- 単元の流れを理解させ、授業に取り組むことができるようにします。
- めあて達成に向けて、友達や教師のアドバイスを聞き、修正することができるようにします。
- チームや友達のつまずきや課題を見つけられるようにします。
- 指定された場を必要に応じて変え、活動することができるようにします。

身に付けさせたい力

「からだづくり」

- ・敏捷性、平衡性などの調整力を身に付けることができる。
- ・動きの多様性とともに、確実性を高めることができる。

「こころづくり」

- ・競争意欲が高まるので、仲間意識の向上を図る。
- ・自分のめあてに向かって粘り強くやりぬきながら協力してゲームができる。

学習の予定

月	領 域 名	<内 容>
4	集団行動	< 集団行動 >
	走・跳の運動	<かけっこ・リレー>
5	表現運動	<表現運動>
6	ゲーム	<タグラグビー>
7	水泳	<浮く・泳ぐ>
9	体づくり運動	< 多様な動きをつくる運動 >
	器械運動	<マット運動>
	保健	<育ちゆく体とわたし>
10	ゲーム	<ティーボール>
	体づくり	<多様な動きをつくる運動>
	器械運動	<鉄棒>
11	走・跳の運動	<高跳び>
	体づくり	<体ほぐし>
12	走・跳の運動	<ハードル>
1	器械運動	跳び箱運動
2	ゲーム	<サッカー>
3	体づくり	<多様な動きをつくる運動>
	器械運動	<鉄棒>

評価の観点



- 知識・技能 … 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育、発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けている。
- 思考力・判断力・表現力 … 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。
- 学びに向かう力、人間性 … 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、友だちの考えを認めたり最後まで努力して運動している。

特別活動 4 年

★特別活動の目標★

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指します。

★特別活動の活動内容★

学級活動	学校行事	児童会活動	クラブ活動
(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	儀式的行事 文化的行事 健康安全・体育的行事 遠足・集団宿泊的行事 勤労生産・奉仕的行事	1年生を迎える会 陸上選手を はげます会 卒業を祝う会 等	バスケ・ドッジ サッカー・フット 卓球 バド・バレー バトン・ダンス パソコン 昔遊び 手芸 図工 科学



◇学級活動の学習の予定◇

月	(1) 学級や学校の生活づくりに 関する内容 25時間	(2) 日常生活や学習への適応及 び健康安全に関する内容 6時間	(3) 一人一人のキャリア形成と 自己実現に関する内容 4時間
	《予想される議題例》	《題 材》	《題 材》
1 学 期	・学活の計画を立てよう ・学級会の目標を決めよう ・学級の旗を決めよう ・係を決めよう ・学級の歌を決めよう ・給食当番を決めよう ・前期代表委員を決めよう ・兄弟クラスの遊びを決めよう ・運動会の取り組みを話し合おう ・雨の日の過ごし方を考えよう ・社会科見学の約束やバスレクを決めよう ・スポーツ大会をしよう ・まとめの会をしよう	○家庭学習の計画を立てよう ・清掃の工夫 ・安全な自転車乗り ・楽しい運動会 ○丈夫な歯 ・雨の日の過ごし方 ○楽しい夏休み ・整理整頓 ・本の探し方	○4年生の出発 ・配膳の工夫 ・安全な登下校
2 学 期	・係を決めよう ・夏休み発表会をしよう ・グループのめあてを決めよう ・後期代表委員を決めよう ・陸上選手を励ます会のやり方を考えよう ・カルタ大会をしよう ・なかよしデーをつくろう ・2学期のまとめをしよう	○2学期をむかえて ・学習の準備 ・目の健康 ・物を大切にする日 ○友達と仲良く ・県民の日 ・風邪の予防 ○健康的な冬休み ・言葉遣い ・こづかいの使い方	
3 学 期	・係を決めよう ・「卒業を祝う会」の出し物を決めよう ・サッカー大会をしよう ・給食のマナーを考えよう ・学級文集をつくろう ・寒い日の遊びを工夫しよう ・学級のお別れ会をしよう ・6年生に色紙を送ろう	○3学期をむかえて ・恐ろしい交通事故 ・お世話になっている人に感謝しよう ・持ち物を大切に	○高学年への心構え ・教室をきれいに ・もうすぐ春休み



道 徳 科 4 年

学習予定

道徳科で学習すること

	月	教材名	項目
1 学 期	4	道子の赤い自転車 お母さんのせい求書	C 規則の尊重 C 家族愛
	5	アメリカとの出会いジョン 万次郎のぼうけん 折り紙 電話のあらしがやって来た 名人をこす 藤井聡太	C 国際理解 C 伝統と文化 B 礼儀 A 希望と勇気
	6	*わたしとのぞみ 花をさかせた水がめの話 雨のバス停留所で 心の信号機	B 友情、信頼 A 個性の伸長 C 規則の尊重 B 親切、思いやり
	7	友だちのしょうこ 山びこ村の二人	A 節度、節制 C 公正、公平
	9	*スーパーの店先で クラスたいこう全員リレー つながっている日本と外国 ないものはない	B 親切、思いやり A 善悪の判断 C 国際理解 C 伝統と文化
	10	へこねなまきせきのりんご 石っこけんさん宮沢賢治 わたしのいのち 花さき山	A 希望と勇気 D 自然愛護 D 生命の尊さ D 感動、畏敬の念
	11	休み時間の出来事 友だちが泣いている ピクトリーロード ヘレン・ケラー物語	A 正直、誠実 A 善悪の判断 B 友情、信頼 C 公正、公平
2 学 期	12	谷川岳に生きたドクター 神戸のふっこうは、ぼくら の手で かべに付けた手のあと	B 感謝 C 勤労 C よりよい学校生活
	1	ぼくのおばあちゃん *流れて行く先 へらぶなつり	D 生命の尊さ D 自然愛護 B 相互理解
	2	心と心のあく手 えがおのクリニックラウン カマキリ	B 親切、思いやり D 生命の尊さ A 善悪の判断
3 学 期	3	いのりの手 ばんざい大きな花まる	B 友情、信頼 A 個性の伸長

*彩の国の道徳（埼玉県独自の道徳教育教材資料集）

1学期：「学級づくりの羅針盤」より

2学期：「心の絆」より

3学期：「未来に生きる」より

A 主として自分自身に関すること

- (1) 正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。
- (2) 過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。
- (3) 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。
- (4) 自分の特徴に気づき、長所を伸ばす。
- (5) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜く。

B 主として人との関わりに関すること

- (6) 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。
- (7) 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。
- (8) 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。
- (9) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
- (10) 自分の考えや意志を相手に伝えるとき、相手のことを理解し、信頼し、助け合う。

C 主として集団や社会との関わりに関すること

- (11) 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る。
- (12) 誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。
- (13) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。
- (14) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。
- (15) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくる。
- (16) 我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつ。
- (17) 他国の人々や文化に親しみ、関心をもつ。

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- (18) 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする。
- (19) 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にする。
- (20) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。

評価の視点

○道徳教育における評価は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気付ける働きをもつものです。観察や面接、質問用紙、作文等を利用して道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにしています。

○道徳科に関しては、数値などによる評価は行いません。

ふれあう時間（総合的な学習の時間） 4年

ふれあう時間（総合的な学習の時間）とは

地域や学校、児童の実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色ある教育活動を行うことができる時間です。国際理解や情報、環境、福祉健康などの今日的課題や各教科等の学習内容をまたがったり発展させたりするような課題、児童の興味・関心に基づいた課題などについて学習を進めます。4年生では、70時間学習します。

ふれあう時間の目標

- 児童が学習や生活の中から、自分で課題を見つけ出すことができるようにします。
- 自ら考え判断し、問題を解決していく経験を通して、学び方を身につけるようにします。
- いろいろな「ふれあい」を通して、人としての生き方や在り方を学びます。



育てたい力・態度

- 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、探求課題に対する自分なりの結論を見出す力。
- 体験や他者から得た情報を基にして自ら課題を設定し、調査して得た情報を自分なりの根拠をもってまとめ・表現する力。
- 探求的な学習に主体的・協働的に取り組み、学んだことを自分の生活に生かそうとする態度。

児童の学習活動

- 次の段階を踏まえ学習を進めます。
- 【課題の設定】体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ。
 - 【情報の収集】必要な情報を取り出したり収集したりする。
 - 【整理・分析】収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。
 - 【まとめ・表現】気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。

評価の観点

- ・テーマにそって自分がやりたいことを計画し、続けられたか。
 - ・学習してきたことが、効果的にまとめられたか。
 - ・レポート、絵、作品、資料等を整理して発表できたか。
 - ・グループで協力して積極的に取り組めたか。
- ※テストや優劣をつけるような評価は行いません。

	月	テーマ・ねらい	技能 (ローマ字入力・インターネット検索・プレゼンテーション・プログラミング)
1 学期	4	ともに生きよう	
	5	車いす、アイマスク、点字の体験の体験を通していろいろな立場の人を理解できるようにします。そして、その人の身になって考え、ともに成長していこうとする気持ちや態度を育てます。	
	6		
	7		
2 学期	9	パソコンの使い方に慣れる学習	
	10	学習アプリ(Lgate)や会議用アプリ(Teams)の使い方、ローマ字入力の練習、画像の保存の学習の他、Wordを使った資料作りやPowerPointを使ったスライドショー作り、Scratchを使ったプログラミング学習を行います。	
	11		
	12		
3 学期	1	将来をみつめて	
	2	10才の自分を自覚し、将来への希望をもてるようにする一方、家族やこれまでにお世話になった方たちへの感謝の気持ちがもてるようにします。	
	3		

保護者の方へ

児童が取り組んでいることについて、ご家庭でも話題にいただければ、児童の関心も高まります。

また、経験等を生かしゲストティーチャーとして児童に話をしていただけの方や、校外での学習時に児童の安全のため、支援ボランティアをしていただける方を探しています。ご協力をお願い致します。

外国語活動 4年

*** 外国語活動の目標 ***

英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通してコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

- 英語を通じて
- ① 言語や文化について体験的に理解を深める。
 - ② 他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
 - ③ 英語の音声や基本的な表現に親しませる。

外国語活動で学習すること

- *英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験します。
- *積極的に英語を聞いたり、話したりします。
- *言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ります。
- *英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付きます。
- *日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付きます。
- *異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深めます。

*** 評価の観点 ***

- ① 言語や文化の理解を深めているか。
- ② 積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。
- ③ 英語の音声や表現に慣れ親しんでいるか。

*** 保護者の方へ ***

- ・外国語の学習においては、原則として英語を取扱います。
- ・多くの表現を覚えたり細かい文法事項を理解したりするのではなく、簡単な表現を読んだりすることでコミュニケーションを図り、英語に慣れ親しむことに重点を置いていきます。
- ・今年度は担任とALTでの授業です。
- ・CDやDVDなどの視聴覚教材や絵カード、Let's try! 2（文部科学省）等を活用しています。



学習の予定（年間35時間）

	タイトル	主な使用表現 内容 等
1学期	1 Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう	Hello. Good [morning / afternoon]. I like (strawberries). Goodbye. See you
	2 Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう	How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. Let's (play cards). Yes, let's. Sorry. Stand up. / Sit down. / Stop. / Walk. / Jump. / Run. / Turn around.
	3 I like Mondays. 好きな曜日は何かな？	What day is it? It's (Monday). Do you like (Mondays)? Yes, I do. / No, I don't. I like (Mondays).
2学期	4 What time is it? 今、何時？	What time is it? It's (8:30). It's (homework time). How about you?
	5 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう	Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). This is for you.
	6 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう	Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have (six). Do you have a (b)? Yes, I do. / No, I don't. That's right. / Sorry, try again.
3学期	7 What do you want? ほしいものは何かな	What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.
	8 This is my Favorit place. お気に入りの場所をしようかいしよう	.Go straight. Turn [right / left]. Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).
	12 This is my day. ～"Good Morning"～ ぼく・わたしの一日	I wake up (at 6:00). I eat breakfast (at 7:00). I go to school. I go home. I take a bath.